

2016 年 9 月 8 日

世界の子ども日本語ネットワーク推進 第 8 回「海外児童日本体験プログラム」 海外参加校 決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 8 回「海外児童日本体験プログラム」に参加する海外校の決定について、本日、発表しましたのでお知らせいたします。

- ▶ 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、世界 14 の国・地域より 14 校が本プログラムの参加校として選出されました(※別紙参照)

■ 当事業の目的

この事業は、日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

■ プログラム概要

「海外児童日本体験プログラム」は、(日本の中学校に相当する)海外の中等教育機関で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、文化・社会体験などを通して、日本のことばや文化への理解・関心を深めるものです。

■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、日本滞在中の宿泊費・食費・活動費(研修費、交通費を含む)

■ スケジュール

実施:2017 年 4 月 13 日～27 日(予定)

※このプログラムに参加する海外校生徒を引率する日本語教師を対象とした事前研修を 2016 年 11 月 14 日～12 月 3 日に実施予定

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、1970 年、株式会社博報堂の創業 75 周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011 年 4 月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

世界の子ども日本語ネットワーク推進 (担当:内海・福本・横山)
TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016
E-mail: hakuho.gn@hakuhodo.co.jp

第8回「海外児童日本体験プログラム」 海外参加校一覧

所在地	学校	引率する日本語教師
インド	サウス ポイント学校	マンダール スリパート スガウェーカー
インドネシア	エクセレント中学校	ソフィアン
オーストラリア	ツリートップス モンテッソリ	シャロン グレニス クロスマン
スリランカ	セントジョンズカレッジ	ヘシヤンドリカ ペレーラ
タイ	パトゥムテープ ウィッタヤカーン高校	ラッシャポン ピラークン
台湾	国立中央大学附属中壠高校	ハン キヨミ(范 清美)
ハンガリー	バーリント マールトン小中高等学校	ホルヴァート クリスティナ
フィリピン	フィリピン日系人会インターナショナルスクール	アグアン メイ
ブラジル	ミラソウ学園	ソフィア 沙織 梶
ベトナム	トーホアン中学校	クック ティ ホン チュエン
マレーシア	バンダル バル サラック ティンギ国民中等学校	マーガレット アントニー
モンゴル	オルホン県バヤン ウンドゥル総合学校	ノルジワーンチグ バーサンスレン
ルーマニア	イオン クレアンガ高校	ルング マリアナ
ロシア	第51番専門日本語学校	ダリア ベッズズボワ